

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第3回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

3 開催日時

令和5年6月28日（水） 午後6時から午後6時53分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）
石川美恵子、大瀧幸治、加藤國治、小林雅史、高橋敏光、
高橋 誠、高宮宏一、長 和子、益田侑季（欠席3人）
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

8 発言の内容

【難波主任】

- ・ 神崎委員、土屋委員、平良木委員を除く12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：長委員、高宮委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【村田会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3議題（1）地域活性化の方向性について —

【村田会長】

次に次第3 議題（1）地域活性化の方向性についてに入る。

前回の会議では「地域活性化の方向性」の素案について意見交換し、その結果を踏まえて修正した案をお示しすることとした。

- ・事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・資料No.1により説明

【村田会長】

説明に対し、質疑を求めるがなし。

「地域活性化の方向性」の案について、各委員の意見を求める。

【益田委員】

活性化するには住んでいる方々がつながることがよいと思っているし、そのような内容もここに入っているなのでこの形でよいと思う。

【長委員】

方向性はこの感じでよいと思う。ここからどうやって広げていくか、この先の活動をどうしていくかのほうが大変かと思うので、そちらに移行していくのがよいと思う。

【高宮委員】

このとおりでよいと思う。金谷地区は、南部、中部、北部と大変細長いエリアである。いろいろな歴史がある地域なので、それをまとめていくことによって、金谷

区の地域活性化につながっていくのではないかと考えている。

【高橋誠委員】

何も言うことはない。これからの方向性が難しいと思うが、これを基本にして次へ進んでいったほうがよいのではないかと。

【高橋敏光委員】

今、金谷地区を眺めてみると、飯、平山、上中田は活性化している。全体を見るとこの金谷地区は進んでいると思っている。一方で、山に入るとちょっと遅れている、過疎化が進んでいる地域もある。その兼ね合いを考えながら、皆さんと話していけばよいと思っている。

【小林委員】

方向性はこれでよいと思う。皆さんが言うように、この後どうするかがもっと大事になると思う。

【加藤委員】

特に異論はない。このままで、活性化につながればと思っている。

【大瀧委員】

いろいろ出てきたものをよくまとめていただいた。それぞれの項目を読んでもみると、こうなればよいなという項目ばかりである。

【石川委員】

よいと思う。「広域的な団体間のネットワーク化を目指します。」という文言と「つながる金谷区を目指します。」というのはよい言葉だと思う。私としては、道の駅や農家産直市場はとても魅力だったので、これが削られたことは残念であった。これが残ったからといって、我々に何ができたかというのものもあるし、これは将来的に別の形で、どこかで何かの形でできればよいと思う。

【川住副会長】

金谷山と新しくできる金谷公民館を中心に、地域の活性化を図るように今後も活動していければと考える。これでよいと思う。

【山井副会長】

皆さんに意見を出していただいて、よくまとまったと思う。皆さんと同じ意見で

ある。

【村田会長】

では、この案を金谷区の「地域活性化の方向性」とすることでよろしいか。

(よしの声)

ここで平良木委員の声が聞けないのが残念である。2回に渡って、平良木委員からたくさんの意見をいただいた結果だと考えるので、平良木委員も賛同してくれるものと確信している。これで「地域活性化の方向性」の内容が固まり決定した。

なお、他区の地域協議会では、地域の任意団体、あるいは地域の住民との意見交換等を経て固めているところもあると聞くが、正副会長の考えとしては、金谷区地域協議会では、委員間の協議により完成させることとし、完成した「地域活性化の方向性」は、金谷区地域協議会だよりで地域に周知し、意見を頂戴したいと思う。以上のような取り扱いでよろしいか。

(よしの声)

次に、今後の会議の進め方について、協議したいと思う。正副会長の考えとしては、二つの案を考えている。

一つ目は、この機会にコロナ禍で3年間実施することができなかった出張地域協議会という形式で地域の場に出て、この地域活性化の方向性について議論をする。あわせて、今回、地域協議会が、特に関心を持って進めていかなければならない新しい金谷地区公民館についての進捗状況等々、最新のものを担当課から出張協議会の席上で報告いただく。あるいは、説明をいただくという機会を設けていきたい。

二つ目は「地域活性化の方向性」の具体化をどのように進めていったらよいかを皆様と検討協議していくという二つの案がある。

また、両方を検討協議していくという三つ目のやり方もある。

まず、一つ目の出張協議会について、皆さんいかがか。

【小林委員】

今日、「地域活性化の方向性」を協議会として決定した。これをこの段階ですぐ市にあげるのか。それとも、地域協議会だより等で地域に情報公開し、何らかの意見が来た場合に、さらなる修正等もあり得るというスタンスなのか。

【難波主任】

正副会長と事務局で協議した中では、協議会での決定で完成とする。ただし、7月25日に発行し、金谷区で全戸配布する地域協議会だよりに掲載して、そこで意見があればいただくこととする。意見が多ければ、地域協議会で協議することとしている。

【小林委員】

これは協議会で決めたことで、構成要素が四つある中で、自分たちがこんなアイデアがあるとか、こういうことをやりたいとか、そういう意味での発展的な意見が集まって、さらに次のステップとして進めるようなイメージでの情報発信がよい。これは、地域に何も意見を聞かずに地域協議会だけで決めたというわけではないし、いろいろな関わりがある中で、皆さんで知恵を絞って、煮詰まったテーマがここに厳選された四つとして残ったものだと思うし、大筋に対して反対という人は、多分それほどはいないと思う。むしろ、具体的に私たちは、これができるとか、こういう構成要素であればすごく助かるとか、今後のためになるとか、そういったプラスの意味での意見をできるだけ集めるような流れで情報公開をしていただければ、先ほどの出張協議会も含めてさらに意見が集まりやすくなると思う。そういう方向で持っていけたらよい。

これは、出張協議会と重なるかわからないが、前回、ヨーデル金谷から、今後のことについてお話をいただいて、例えば、ボランティア活動、ヨーデル金谷が今後果たす役割と我々が目指しているところと非常に関係深いところも多いと私は感じたので、ヨーデル金谷と早めに意見交換して、やれるべきことは公民館が完成する前からでも、小さいことでも進めていける内容があれば、進めていってもよいのではないか。

【村田会長】

「地域活性化の方向性」の文言についてではなくて、これを具体化し、実現するために地域の声を聞かせていただくことが大事である。そのように事務局には検討いただきたい。この決まった文言について、協議会が始めたことに意見を求めるのではなく、小林委員が言われたように、これを実現するための協力を仰ぐ意味で、意

見をいただくというふうに地域に発信することが大事だと思う。出張協議会でもそのように対応していくし、また、私ども地域協議会でも改めてこの実現に向けて、小林委員が言われたように、ヨーデル金谷と早めに、具体化を検討するということが大事だと改めて思う。出張協議会などで、この方向性を実現化するべく検討協議を進めていくという考え方でいきたいと考える。皆さん、それでよろしいか。

(よしの声)

それでは、出張協議会について、具体的に皆さんに説明をさせてほしい。前回からの出張協議会を再開するに当たって、出張協議会を今まで開催したことのない町内会を3か所ピックアップした。

一つ目は、昭和町2丁目の町内会館。二つ目は、おおぬきこどもの家。これは、大貫3丁目の町内会館である。三つ目が、中通町の町内会館。これら三つを今回、候補に挙げている。この三つの町内会で出張協議会を設けていきたいと考えているが、先方に連絡する必要もあるため、1か月は猶予をおかないと都合が悪いということで、8月以降の開催にしたい。おおぬきこどもの家は、エアコンが入っていないので、大貫3丁目は夏ではなく秋か冬に開催することとし、今回は昭和町2丁目か中通町のいずれかにしたいと考える。今日、私が各町内会長にそれぞれ打診をした結果、昭和町2丁目の町内会長からは、即答で開催承諾の返事もらった。中通町の町内会長からは、役員協議をしたうえで判断しなければならないと言われた。地域にこういう協議会が来ると、中通町の住民に集まってもらうための手続きをしなければならないので「少し時間をください」と言われた。従って、すぐに承諾をいただいた昭和町2丁目で8月以降の出張協議会の場を設けたいと考えるが、皆さんいかがか。

ただし、昭和町2丁目は、駐車場までの道案内をきちんとしないと分かりにくい。また、町内会館へ通じる道路は狭いが、町内会館に隣接する広い公園には10台くらい駐車することができる。その駐車場をきちんと委員の皆さんに図で示して案内することで、駐車場の問題はなくなるものと考えている。さらに必要な場合には、近くにスーパーがあり、そこに4、5台駐車することのお願いをすることは可能かと考えているので、駐車場については心配ないと考える。昭和町2丁目町内会館で

次の出張協議会を開くことについて、皆さんいかがか。

【大瀧委員】

町内会長に打診した時、具体的にどんな反応だったか伺いたい。

【村田会長】

すぐに反応があった。

【大瀧委員】

今の昭和町2丁目町内会の執行部は、ここに載っているような「金谷地区」という概念を本当に持っているのかと疑問に思っていた。この金谷地区でいろいろな行事があっても、自分たちも金谷地区の一町民だという意識がまだまだ薄いのではないかと心配している。

【村田会長】

昭和町2丁目の町内会長は、金谷地区振興協議会の副会長であり、着々と金谷区の一員だということを自覚されている。私どもも大変お世話になっているし、今回の件については、即答で承諾してくれた。大瀧委員がご存知のとおり、町内会館を貸し出すことによって、借用料が発生する地域でもあるらしいが、昭和町2丁目では「どうぞ使ってください」と本当にありがたい返事をすぐにいただいたので、問題ないと思う。昭和町2丁目は、今まで出張協議会がなかったもので、今回初めて町内会館へ伺い、昭和町2丁目の住民の方々からも出席をいただき、地域を挙げての出張協議会を8月以降に開催したいと考えているので、承知願いたい。

それでは、出張協議会などで、この「地域活性化の方向性」を具体化するべく協議していくことに決定する。社会教育課からは、金谷地区公民館の進捗状況等を公表できる段階になる8月以降に地域協議会で説明いただくということで、承知していただきたい。その場で皆さんから改めて社会教育課に質問等をしていただいて、よりよい金谷地区公民館になっていくための協議をしたいと思っている。このことについて意見を求める。

【小林委員】

前回、一般市民を含めて説明会を二日間、開催していただいて、私も一回出席した。その時にもお願いしたが、皆さんからいただいた意見に対して、どうなったの

かという切り口で説明していただきたい。基本設計を変更する、しないも含めて、可能であればそのような説明をいただくお願いをしてほしい。

【村田会長】

事務局から、社会教育課へそのようにお願いできるか。

【難波主任】

小林委員からいただいた意見は、社会教育課に伝える。

【村田会長】

他にどうか。私も公民館利用者を対象とした基本設計案の説明会に出席した。利用者は、いろいろな意見を言った。小林委員が言われたように「こう言われたので、このようにした」という説明だとよいと思う。それと、地域協議会に説明する内容は、前回説明した利用者の皆さんや地域の主たる団体など、そういったところへも同様の説明をしていただきたい。そのような説明があると思うが、そのことも併せて伝えてほしい。

【難波主任】

そのことも社会教育課に伝える。

【村山会長】

地域協議会に公民館の説明をしたからということで、それが何かすべて収まるようでは困る。地域協議会が説明を聞いたからよいと言う立ち位置ではない。今言ったように、利用者の団体や地域の主たる団体にもきちんと説明をして、よい公民館になってほしいと願っている。

皆さんにもう一点だけ相談したい。おかげさまで「地域活性化の方向性」を今回で固めることができた。これについて、8月以降の協議会で協議したい。次回の7月の協議会は、休会にしたらどうかと三役と事務局で考えている。

これについて、皆様の意見を伺いたい。

【石川委員】

休会だとありがたい。

【高橋敏光委員】

休会でよい。

【村田会長】

では、次回は8月にするというので、了解をいただいた。

【小林委員】

8月が出張協議会ということか。

【村田会長】

その予定である。

【難波主任】

社会教育課との調整もあるので、早ければ8月ということになる。

【村田会長】

以上で、次第3議題（1）地域活性化の方向性についてを終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【村田会長】

次に、次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・ 第4回協議会：令和5年8月30日（水）午後6時から
- ・ 当日配布資料：ウィズじょうえつからのおたより
男女共同参画推進センターのチラシ 2種類

【村田会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。